



野々市市長
栗 貴章

かがやき無限大 みんなでつくる インパクトシティののいち

新年あけましておめでとうござい
ます。平素より市政の推進に對しま
して格別のご理解とご協力を賜り、
厚くお礼申し上げます。

Withコロナと物価高騰

昨年は、「オミクロン株」による
新型コロナウイルス感染症の第6波
から始まり、夏には第7波、年末に
は第8波と、未だ収束が見えないウ
イルスとの闘いが続きました。国は、
行動制限や経済活動制限の見直しを
行い、感染拡大防止と社会経済活動
の両立を図る「Withコロナ」へ
と政策転換した一年でもありました。
一方、世界各国におけるコロナ禍
からの経済活動の再開や、ウクライ
ナ情勢の緊迫化、円安による輸入コ
スト増加などにより原油価格や物価
の高騰が続いています。コロナ禍の
影響を受け続けている中で、食料品
や日用品、電気料金などの相次ぐ値
上げに、私たちの生活は厳しい状況
が続いています。本市では、物価高
騰の影響を緩和するため、国の物価・
賃金・生活総合対策事業に市独自の
対策を加えて事業を行ってきました。
私たちの生活を取り巻く状況は先
行き不透明ではありますが、引き続
き、国や県の動向を注視し、遅れる
ことなく対策を講じてまいります。

市第二次総合計画が開始

昨年4月、今後10年間のまちづく
りの基本指針である野々市市第二次
総合計画がスタートしました。第一
次総合計画から推し進めている「市
民協働のまちづくり」に加え、「S
DGsの推進」「野々市ファンの拡
大」の3つをまちづくりの基本に据
え、10年後に目指す将来都市像を「か
がやき無限大 みんなでつくる イ
ンパクトシティののいち」としました。



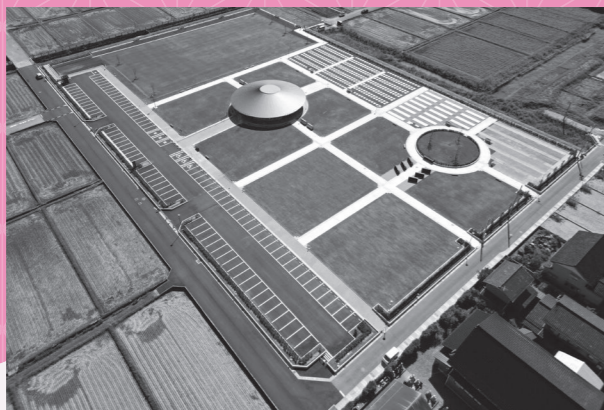
野々市市第二次総合計画アイコン

インパクトシティののいち

未来に向けて本市が目指す理想は、
コンパクトなまちの中に詰まった魅
力を市民の皆様と共に磨き上げ、よ
り一層の輝きを放つことです。無限
の可能性を秘めた本市の魅力を生内
外に発信し、野々市市の価値を高め
ることにより、住んでみたい、住み
続けたいと思えるような、そして、

メモリアルパークののいち

本市のことを少し振り返りますと、
現在進めております中林土地画整
理事業の区域内に、昨年10月、市営
墓地公園「メモリアルパークののい
ち」を開園することができました。
平成26年の市営墓地整備等検討委員
会の発足から8年、市民アンケート
調査などを実施し、慎重に検討を重
ね、計画を進めてきました。



メモリアルパークののいち

多様化する墓地ニーズ

時代の移ろいとともに、価値観や
生活様式も多様化し、お墓に対する
考え方もそれぞれに変わってきてい
ます。「メモリアルパークののいち」



は多様な墓地ニーズに対応するため
区画分譲型の一般墓に加え、施設型
合葬墓（納骨堂）と公営墓地として
は県内初となる樹林型合葬墓（埋蔵
墓）を約2万㎡の敷地内に整備しま
した。敷地東側には多目的広場を設
け、はるかに霊峰白山を眺望できる
絶好のロケーションに、故人をしの
ぶ場、憩いの場、緑豊かな場という
新しい墓地空間を擁する公園として
披露することができました。

開園後に実施した一次募集では、
予想を上回る申し込みをいただき、
市民の皆様の期待の大きさをあらた
めて実感いたしました。
本市には若い世代も多く、現在も
人口は増え続けています。本市を選
び、住まわれている方々にとって、
いつかは訪れる人生の終焉を安心し
て迎えることは、「住みよさ」の大
切な要素であると思っています。こ
の先も「ふるさと野々市」として、
そして、市民の心よりどころとし
て、末永く親しまれる場となること
を願っております。

市長インタビュー「トップに聞く」を金沢ケーブルで放送します！

チャンネル 北國新聞ニュース・プラス（地デジ9ch）

初回放送 1月22日(日) 20:00～

※同チャンネルにてリピート放送

放送内容 市第二次総合計画で掲げた将来都市像への思いなど、市が
目指すまちづくりについて市長が説明します

インタビュー 戸丸彰子氏（フリーアナウンサー）

